

飯舘村 橋梁長寿命化修繕計画



大倉大橋

令和3年3月

福島県相馬郡飯舘村

— 目 次 —

I. 様式1-1

※ () は「道路メンテナンス事業補助制度」
における補助要件

1. 長寿命化修繕計画の目的	1	—国土交通省— インフラ長寿命化 基本計画における記載事項
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁	3	1. 対象施設
3. 健全度の把握及び日常的な 維持管理に関する基本方針 (・老朽化対策における基本方針) (・新技術等の活用方針)	6	2. 計画期間
4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替え に係る費用の縮減に関する基本的な方針 (・費用の縮減に関する具体的な方針)	7	3. 対策の優先順位の考え方 4. 個別施設の状態等
5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期 及び修繕内容・時期又は架替え時期 (・構造物の諸元・直近の点検結果及び次回点検年度) (・対策内容・対策の着手、完了予定年度) (・対策に係る全体概算事業費)	14	5. 対策内容と実施時期 6. 対策費用
6. 長寿命化修繕計画による効果	14	
7. 計画策定担当部署及び意見聴取した 学識経験者等の専門知識を有する者	15	

II. 様式1-2

対象橋梁ごとの概ねの次回点検年度 及び対策内容・着手時期又は架替え時期	16
--	----

III. 優先順位一覧表	19
--------------	----

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 飯館村の現状

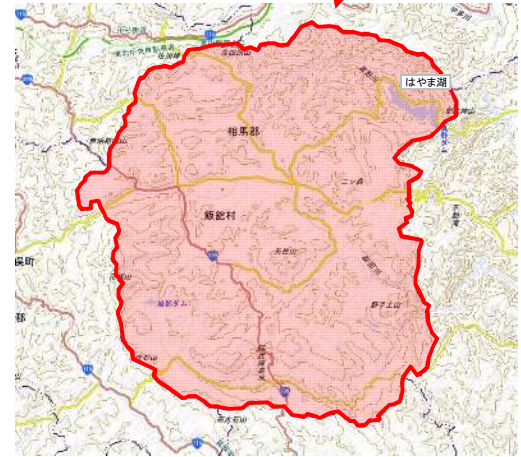
福島県浜通り阿武隈山系の北部に位置する飯館村は、人口5,206人（2021年3月現在）面積230.13平方km、村中心部の標高が500m程度ある浜通りの中でも高い所に位置する村です。冬季の降水量は少なく太平洋側気候に属しますが、標高が高いため温暖な浜通りの中でも、平均的に涼しい気温が特徴となっています。

村は2011年3月11日に発生した福島第一原発事故の影響により、一時は全村民が県内外に避難していましたが、2017年3月31日の長泥行政区を除く避難指示の解除により、現在は村民の25%にあたる約1400人が村内で居住しています。

村内には国道399号のほか5本の県道が通っており、総延長253.8kmの村道は国道及び県道へアクセスする生活道路のほか、農耕用の道路として使われてきました。しかし現在は、原発事故の影響により、汚染土壌運搬等復興関連事業の工事用道路としても、村道は多く使用されています。

村道に架かる橋梁は112橋ありますが、ダム湖のはやま湖に架かる100m以上の長大橋を1橋有していることのほか、右下の表及びグラフのとおり、1橋当たりの人口が46.48人と50人/橋を下回っていることなどが特徴となっています。

福島県内市町村位置図



2) 背景

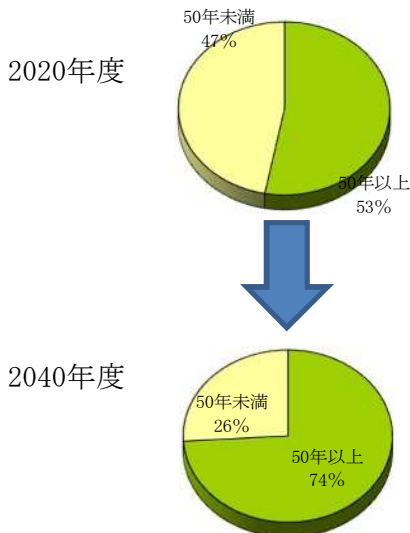
飯館村の管理する橋梁112橋のうち、今回修繕計画の対象とする38橋の中で、2020年時点で建設後50年以上を経過する橋梁は全体の約19%ですが、10年後の2030年には60%、20年後の2040年には83%に増加します。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大となることが懸念されます。

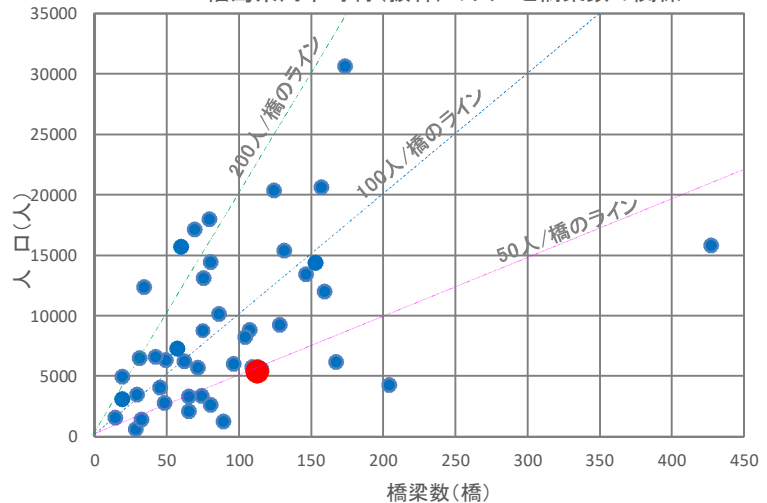
近隣町村との比較

町村名	面積 (km ²)	人口 (人)	人口密度 (人/km ²)	橋梁数 (橋)	橋梁の密度 (橋/km ²)	一橋当りの人口 (人/橋)
飯館村	230.13	5,206	22.6	112	0.49	46.48
新地町	46.7	8,043	172.2	104	2.23	77.337
葛尾村	84.37	1,370	16.2	32	0.38	42.81
川俣町	127.7	12,525	98.1	146	1.14	85.79

(現在の飯館村の居住人口1481人：13.22人/橋) 人口は2021年現在



福島県内市町村(抜粋)の人口と橋梁数の関係

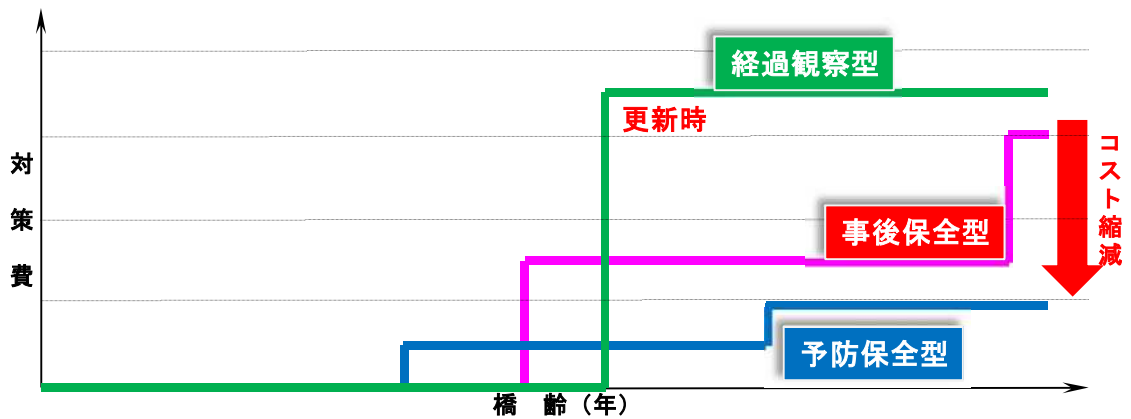
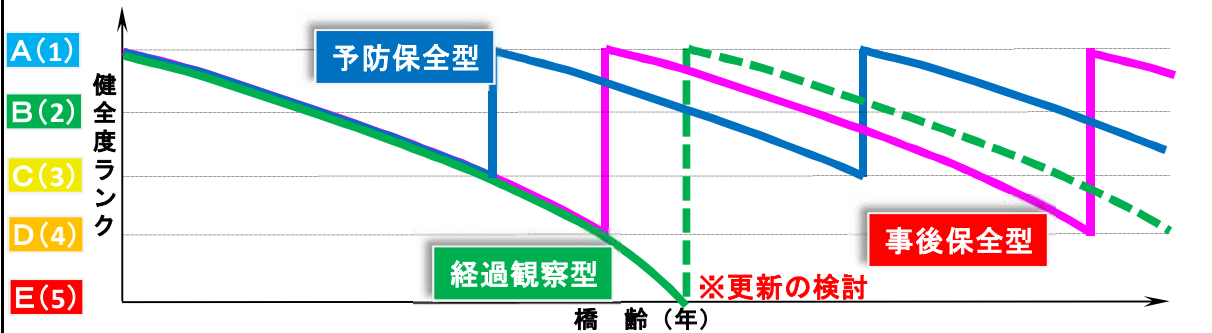


3) 目的

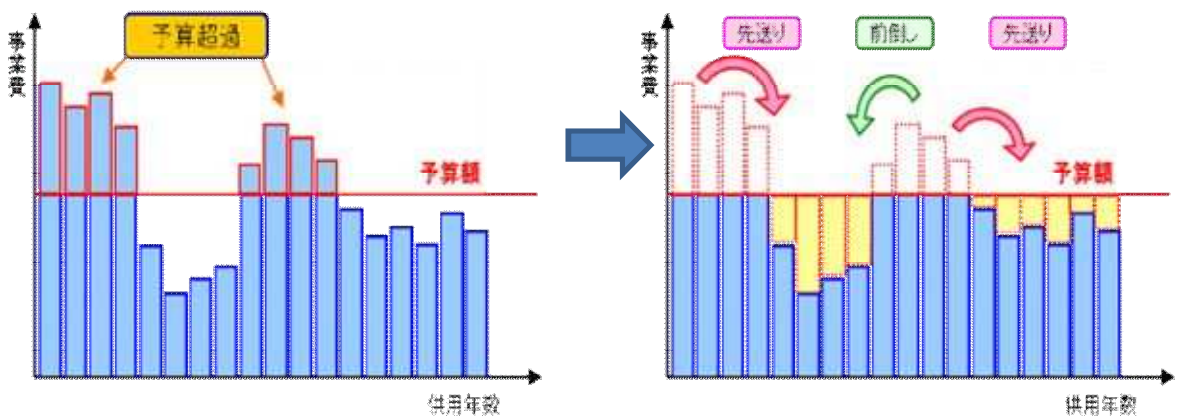
このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となります。

将来にわたり橋梁を保全・維持するためには、費用のかかる架替えが一時期に集中しないように長寿命化修繕計画を策定して、財政負担を低減・平準化する必要があり、コスト削減のためには、従来の事後保全型（対症療法型）から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う” 予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要があります。

そこで飯舘村では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定します。



対策シナリオのイメージ

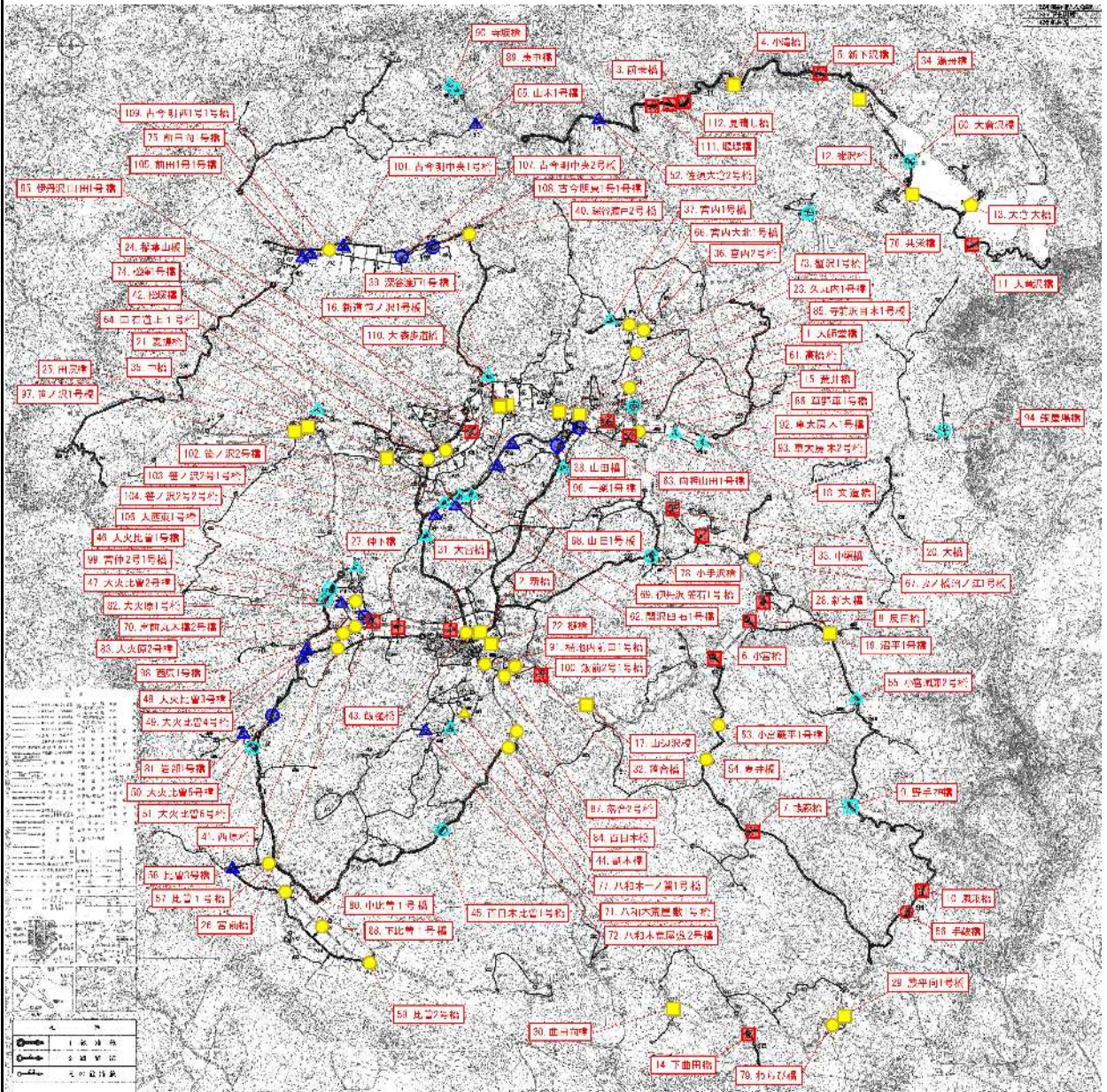


予算平準化のイメージ

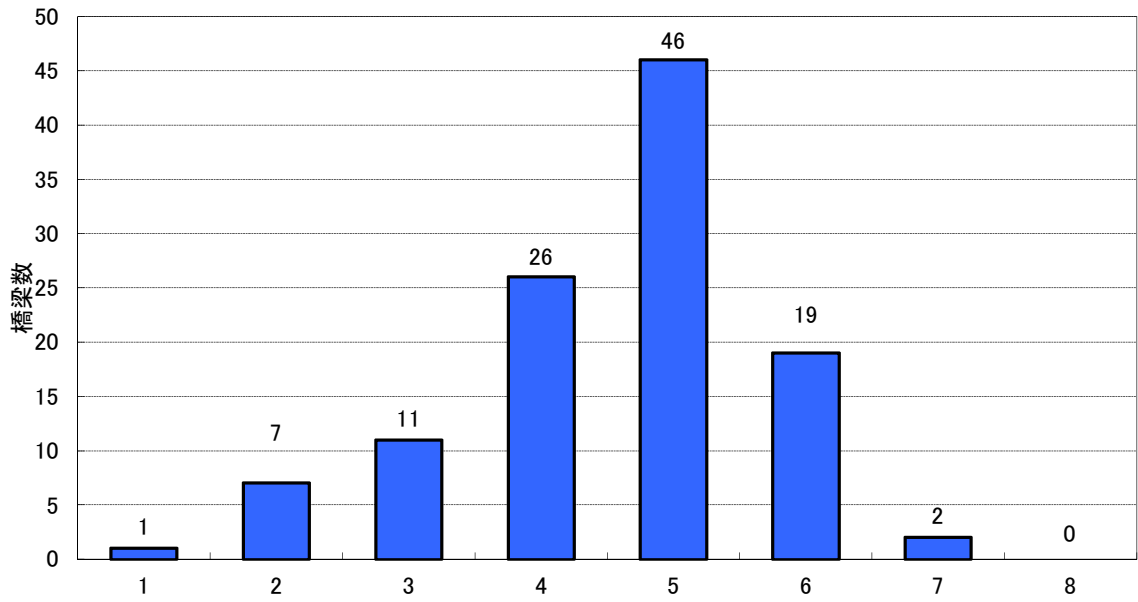
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	村道 1級	村道 2級	村道 その他	合計
全管理橋梁数	20	25	67	112
うち計画の対象橋梁数	20	25	67	112
うちこれまでの計画策定橋梁数	12	13	13	38
うち2020年度計画策定橋梁数	8	12	54	74

※長寿命化修繕計画の対象：飯舘村が管理する橋長2.0m以上の全橋梁を対象とします。



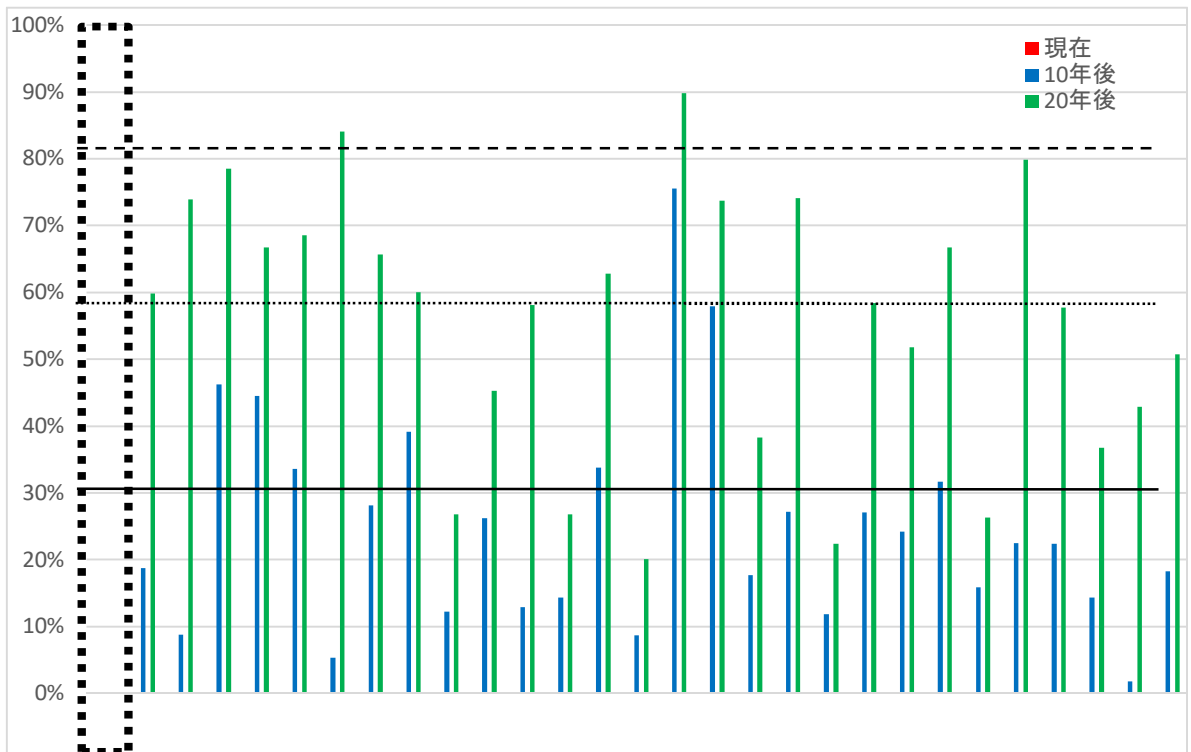
経過年数別橋梁数



経過年数別橋梁数

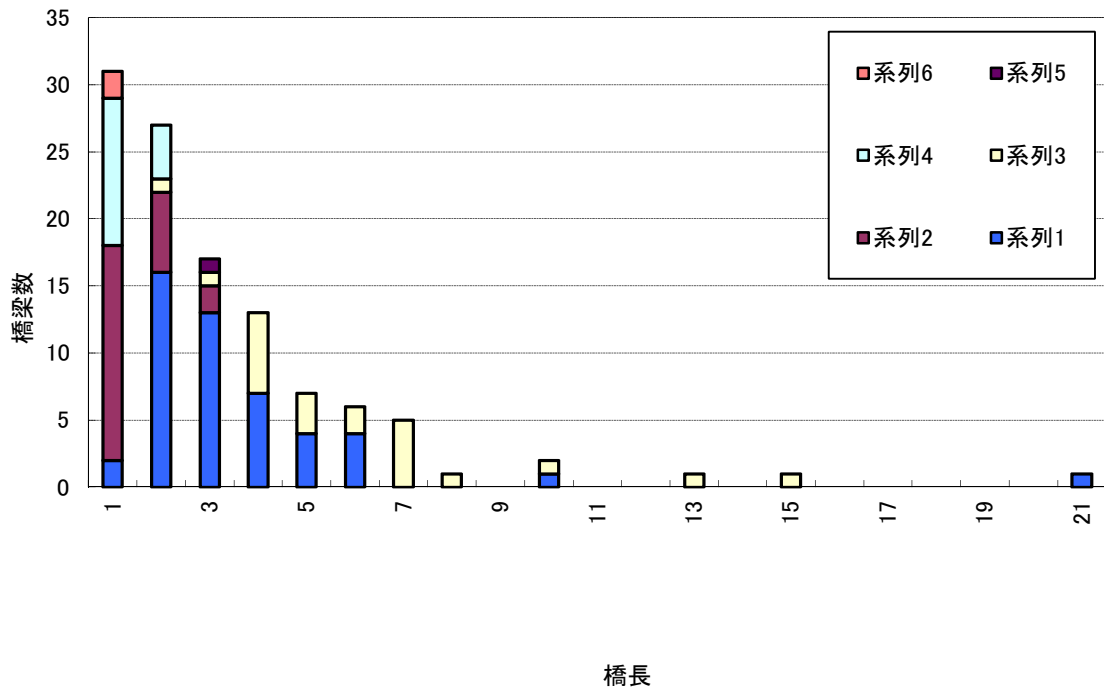
※長寿命化修繕計画で対象としている112橋のうち、建設後50年以上を経過している橋梁は21橋あり、全体の19%を占めています。その内2橋は建設後60年以上を経過しています。

県内市町村（抜粋）の建設後50年以上を経過する橋梁の割合



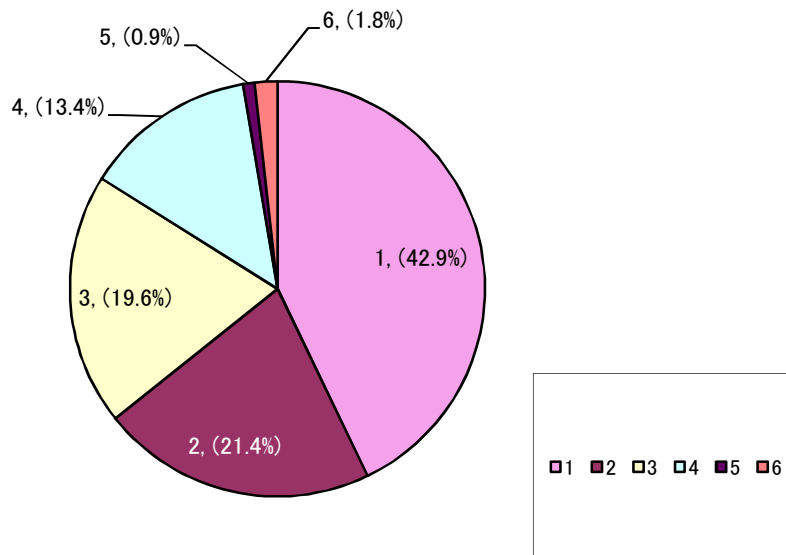
※県内市町村の平均値
 黒実線：現在(26%)
 黒点線：10年後(56%)
 黒破線：20年後(80%)

橋長別橋梁数



※長寿命化修繕計画で対象としている112橋のうち、15m以上の橋梁が37橋あり全体の33%を占めています。その内1橋は100m以上の長大橋となっています。

上部工使用材料別橋梁数の比率



※上部工使用材料別ではP C橋が48橋、R C橋が24橋、ボックスカルバート橋が15橋でコンクリート橋が全体の78%を占めています。複合橋はR C T桁橋+プレテン I 桁橋が1橋です。その他はコルゲートアーチカルバート橋が2橋です。

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針
(計画期間)

1) 健全度の把握の基本的な方針

(・老朽化対策における基本方針)

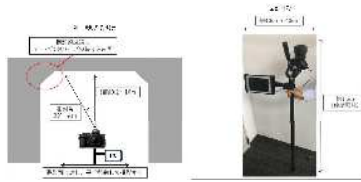
健全度の把握については、国土交通省道路局の「道路橋定期点検要領」(平成31年2月)に基づいて、専門技術者による5年に1回の定期点検及び健全性の診断や、必要に応じて行う詳細点検により、各部材の劣化や損傷の程度などを早期に把握します。

(・新技術等の活用方針)

定期点検における近接方法については、新技術情報提供システム(NETIS)や点検支援技術性能カタログなどを参考に、有用な新技術の活用を検討していきます。特に2巡目点検において、損傷が無しまたは軽微で、判定区分が「I」となった床版橋や溝橋等の小span橋梁については、AI診断等の活用を検討し費用の縮減やとりまとめ作業の効率化に努めていきます。その他、3巡目点検時においては、1橋程度について画像解析等の新技術の活用を目指し、検討していきます。



ドローンによる桁下の点検



デジタルカメラによる溝橋の点検



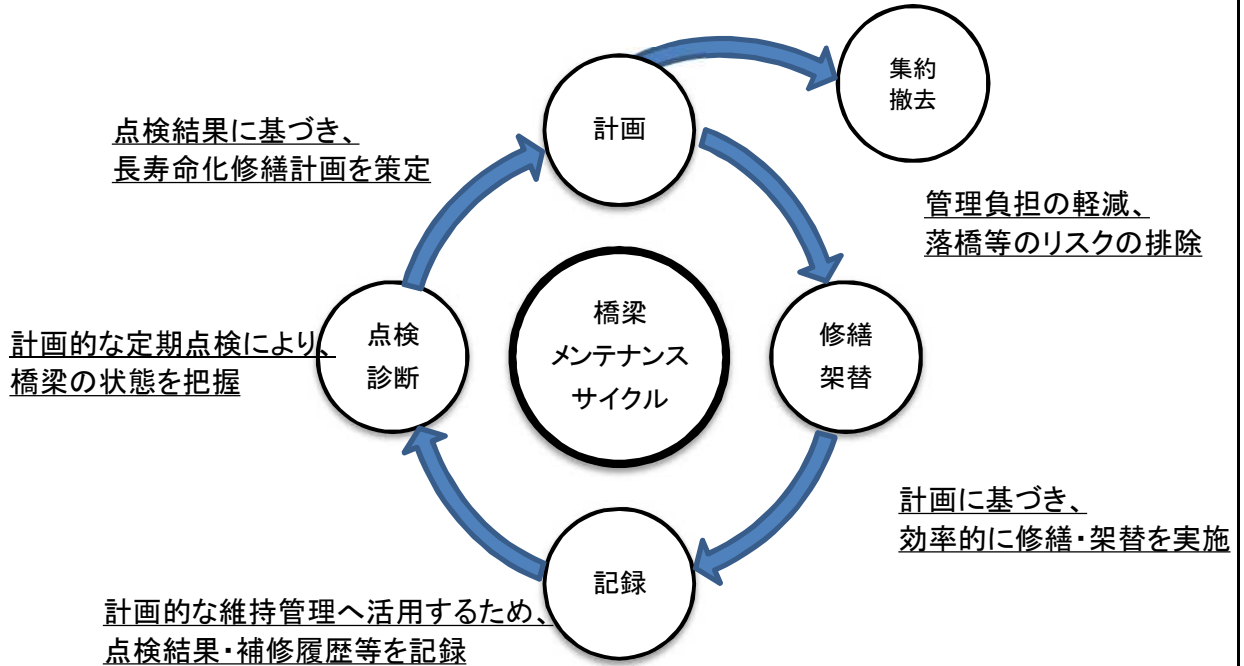
AI・画像診断

橋梁点検における新技術の活用例：(出典)国土交通省「点検支援技術性能カタログ」

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

利用者の安全性の確保及び橋梁を良好な状態に保つために、村職員や補修員等によるパトロールを実施し、排水桝清掃や舗装の軽微な補修等の日常的な維持管理を行います。

橋梁メンテナンスサイクル概念図



3) 計画期間

5年に1回の定期点検結果を基に中長期的な予測を行い、今後50年間の橋梁長寿命化修繕計画を策定します。(計画期間：2021年～2070年)

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針
(対策の優先順位の考え方)

飯館村が管理する橋梁の中で、架設後30年以上を経過した橋梁は全体の83%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想されます。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年間とすることを目標とし、修繕及び架替えに要するコストを縮減します。

1) 管理区分の設定

修繕計画策定にあたり、橋梁の諸元情報（橋長や幅員等）や重要度を考慮した管理区分を橋梁毎に設定します。

管理区分の定義

管理区分	該当橋梁	補修時期	寿命	点検方法		簡易予防保全	
				日常巡回 ※2	橋梁点検 (1回/5年) ※3	橋面 洗浄	桁 洗浄
S 本格予防 保全型	・跨線橋 ・跨道橋 ・橋長100m以上 ・重要度(※1) 該当3つ	健全度ランクD(4) にしない	原則架替え は行わない	○	○	② ※4	②
A 予防保全型	重要度該当2つ	健全度ランクD(4) にしない	100年	○	○	⑤	⑤
B 事後保全型	重要度該当0 または1つ	健全度ランクE(5) にしない	60年	○	○		⑤
C 経過観察型	・重要度該当0 かつ ・カルバート橋 ・5m未満橋梁 ・板橋 ・橋梁以外の形式	健全度ランクE(5) になるまで	耐用年数 まで	○	○		
備考	※1「重要度」 ①緊急輸送路 ②1.2級市町村道 ③バス路線		特殊橋梁は 橋梁ごとに 設定	※2「日常巡回」は、排水側の 清掃及び寄座面の堆積土砂 除去を実施(費用は計上せ ず) ※3橋梁点検費用は計上	※4簡易予防保 全費用を橋梁ごと に計上する ②:2年に1回 ⑤:5年に1回		

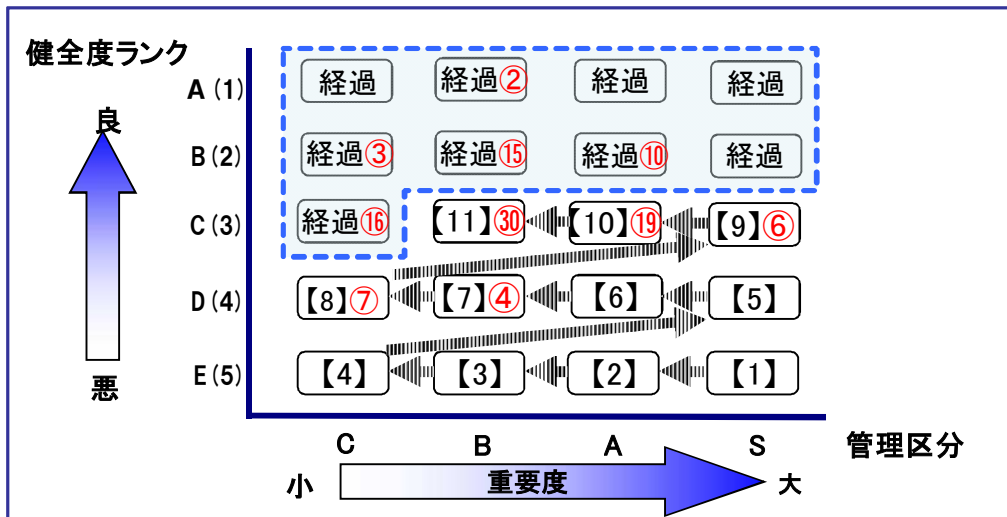
(・費用の縮減に関する具体的な方針)

飯館村の管理する経過観察型の橋梁の中には、供用開始当時に比べ利用状況が著しく減少している橋梁もあることから、現在の利用状況や代替え路の有無を把握したうえで周辺住民と調整し、橋の統廃合も視野に入れた維持管理を行っていきます。特に、大火比曾6号橋については、利用状況が著しく減少していると考えられることから、橋の撤去及び管理外とすること等について検討を行い、点検・補修等の維持管理費用のコスト縮減を図ります（維持管理費用が50年間で約0.5億円縮減）。

また、幅1m程度の水路を跨ぐ小規模橋梁については、対策が必要となった時点でボックスカルバート（溝橋の定義外）や横断暗渠への架け替えも検討して、補修費や点検費等の縮減に努めていきます。※検討する橋梁：車大房木1号橋等6橋程度（点検費用約5%縮減）

2) 優先順位のつけ方

優先順位は以下のマトリックスにより管理区分と主要部材の健全度の関係から決めるものとします



※丸囲み数字は、該当橋梁数

3) 橋梁毎の点検結果 (個別施設の状態等)

飯館村は平成29年～令和2年度に近接目視による定期点検及び橋梁毎の健全性の診断を行いました。橋梁毎の点検結果は以下のとおりです。(判定区分「II」健全度「C」以上表示)

番号	橋梁名	橋長 (m)	径間数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道 幅員 (m)	竣工年	経過年	部材種別	健全度 ランク	健全度 区分	摘 要
0067	妻ノ橋沼ノ江1号橋	13.60	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1969	52	床版	D(4)	III	漏水・遊離石灰
0020	大橋	31.60	1	鋼溶接橋	H桁(不明)	4.00	1976	45	主桁、下部工	D(4)	III	腐食、防食機能の劣化、ひびわれ、漏水・遊離石灰
0074	松窪1号橋	13.06	3	PC橋	プレテンT桁	4.19	1968	53	主部材	D(4)	III	剥離・鉄筋露出
0086	草野車1号橋	12.50	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1972	49	下部工	D(4)	III	ひびわれ、漏水・遊離石灰、変形・欠損
0068	山田1号橋	3.48	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	6.00	1995	26	床版	D(4)	III	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0077	八和木一関1号橋	3.80	1	RC橋	RC桁橋(その他)	4.28	1970	51	主桁、下部工	D(4)	III	ひびわれ、剥離・鉄筋露出
0097	笹ノ沢1号橋	4.00	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1972	49	下部工	D(4)	III	その他(橋台梁部下面土砂崩落)
0102	笹ノ沢2号橋	4.00	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1972	49	下部工	D(4)	III	その他(橋台梁部下面土砂崩落)
0096	一楽1号橋	3.25	1	RC橋	RC 中実床版	3.82	1972	49	下部工	D(4)	III	洗堀
0092	車大房木1号橋	4.80	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1972	49	下部工	D(4)	III	洗堀
0071	八和木荒屋敷1号橋	4.20	1	RC橋	RC 中実床版	5.20	1970	51	下部工	D(4)	III	洗堀
0043	飯橋橋	12.10	1	PC橋	プレテン床版	4.60	1967	54	主桁、床版、下部工	C(3)	II	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0042	松塚橋	13.50	1	PC橋	プレテン床版	4.50	1967	54	床版	C(3)	II	漏水・遊離石灰
0013	大倉大橋	280.00	3	PC橋	ラーメン橋	7.00	1989	32	主桁、横桁、下部工	C(3)	II	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0038	山田橋	5.00	1	PC橋	その他(PC橋)	8.40	1987	34	床版、下部工	C(3)	II	漏水・遊離石灰
0002	新橋	29.85	1	PC橋	ボステン中空床版	7.50	1993	28	床版	C(3)	II	漏水・遊離石灰
0001	大師堂橋	19.85	1	PC橋	プレテンT桁	7.50	1989	32	下部工	C(3)	II	ひびわれ
0008	反田橋	25.30	1	鋼溶接橋	H桁(不明)	4.50	1978	43	主桁	C(3)	II	遊間の異常
0062	関沢白石1号橋	2.30	1	PC橋	その他(PC橋)	7.60	1992	29	床版、下部工	C(3)	II	ひびわれ、漏水・遊離石灰、遊間の異常
0018	文造橋	16.46	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	5.50	1969	52	主桁、横桁、下部工	C(3)	II	遊間の異常、腐食、防食機能の劣化、漏水・遊離石灰
0005	新下沢橋	35.00	1	鋼溶接橋	H桁(不明)	5.00	1995	26	床版	C(3)	II	変形・欠損
0003	前乗橋	47.00	1	鋼溶接橋	H桁(不明)	5.00	2002	19	床版	C(3)	II	変形・欠損
0011	大萱沢橋	31.00	2	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	7.50	1985	36	下部工	C(3)	II	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0010	風兼橋	20.30	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.00	1967	54	主桁、横桁	C(3)	II	腐食、防食機能の劣化
0015	荒井橋	24.60	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	5.00	1973	48	主桁、横桁	C(3)	II	腐食、防食機能の劣化
0012	姥沢橋	47.00	2	PC橋	プレテンT桁	4.00	1986	35	主桁、横桁	C(3)	II	ひびわれ、定着部の異常
0053	小宮蔵平1号橋	6.80	1	PC橋	プレテン床版	6.70	1976	45	下部工	C(3)	II	ひびわれ
0016	新道笹ノ沢1号橋	16.10	3	PC橋	プレテンT桁	4.00	1971	50	主桁、下部工	C(3)	II	剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、ひびわれ
0019	沼平1号橋	23.80	2	PC橋	プレテン床版	3.60	1959	62	床版、下部工	C(3)	II	漏水・遊離石灰、ひびわれ、剥離、うき、欠損
0052	佐須大倉2号橋	2.60	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	5.10	1987	34	下部工	C(3)	II	変形・欠損
0025	田尻橋	21.40	1	PC橋	プレテン床版	5.00	1989	32	下部工	C(3)	II	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0040	深谷渡戸2号橋	6.34	1	PC橋	プレテン床版	5.00	1968	53	下部工	C(3)	II	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0036	宮内2号橋	8.45	1	PC橋	プレテン床版	5.00	1981	40	床版	C(3)	II	漏水・遊離石灰
0056	手敷橋	14.40	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.00	1965	56	主桁	C(3)	II	腐食、防食機能の劣化
0055	小宮風兼2号橋	4.94	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1973	48	下部工	C(3)	II	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0017	山辺沢橋	27.50	2	PC橋	プレテンT桁	5.00	1981	40	下部工	C(3)	II	ひびわれ
0076	共栄橋	13.00	2	RC橋	RC T桁	5.00	1970	51	主桁、床版、下部工	C(3)	II	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0083	大火原2号橋	8.45	1	PC橋	プレテン床版	5.00	1972	49	主桁、床版、下部工	C(3)	II	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0100	飯前2号1号橋	9.45	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1972	49	下部工	C(3)	II	ひびわれ
0098	西原1号橋	8.40	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1973	48	主桁、床版	C(3)	II	定着部の異常、漏水・遊離石灰
0084	百目木橋	10.20	1	PC橋	プレテン床版	8.50	1974	47	主桁、床版、下部工	C(3)	II	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0031	大雷橋	18.90	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.00	1977	44	主桁、下部工	C(3)	II	腐食、防食機能の劣化、ひびわれ、遊離石灰
0032	落合橋	26.60	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	3.00	1977	44	主桁、下部工	C(3)	II	腐食、防食機能の劣化、ひびわれ
0048	大火比曾3号橋	4.75	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	8.00	2002	19	床版、下部工	C(3)	II	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰
0087	落合2号橋	9.40	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1972	49	床版、下部工	C(3)	II	漏水・遊離石灰、ひびわれ
0051	大火比曾6号橋	12.00	1	RC橋	RC T桁	3.60	1962	59	主桁	C(3)	II	漏水・遊離石灰
0027	仲下橋	18.90	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.00	1978	43	主桁	C(3)	II	遊間の異常
0028	新大橋	31.90	1	鋼溶接橋	H桁(不明)	4.00	1978	43	主桁	C(3)	II	遊間の異常
0066	宮内大北1号橋	9.46	1	PC橋	プレテン床版	6.90	1972	49	床版、下部工	C(3)	II	漏水・遊離石灰、洗堀
0059	比曾2号橋	14.15	1	PC橋	プレテン床版	5.00	1991	30	床版、下部工	C(3)	II	漏水・遊離石灰
0026	宮前橋	18.80	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	4.00	1976	45	下部工	C(3)	II	ひびわれ
0033	中塚橋	31.60	1	鋼溶接橋	H桁(不明)	4.00	1978	43	下部工	C(3)	II	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0050	大火比曾5号橋	6.10	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	7.00	2004	17	下部工	C(3)	II	ひびわれ
0023	久丸内1号橋	15.50	3	PC橋	プレテンT桁	2.65	1971	50	主桁、下部工	C(3)	II	剥離・鉄筋露出、ひびわれ、漏水・遊離石灰
0045	百目木比曾1号橋	5.40	1	RC橋	RC 中実床版	5.00	1982	39	下部工	C(3)	II	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0014	下曲田橋	19.90	1	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	5.00	1990	31	下部工	C(3)	II	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0058	比曾3号橋	3.35	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	5.00	1991	30	床版	C(3)	II	ひびわれ、剥離・鉄筋露出
0049	大火比曾4号橋	4.80	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	8.00	2003	18	床版	C(3)	II	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0094	銅屋場橋	5.27	2	鋼溶接橋	H形鋼(不明)	3.76	1990	31	下部工	C(3)	II	漏水・遊離石灰
0088	下比曾1号橋	12.40	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1981	40	床版	C(3)	II	漏水・遊離石灰

3) 橋梁毎の点検結果 (個別施設の状態等)

番号	橋梁名	橋長 (m)	径間数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道 幅員 (m)	竣工年	経過年	部材種別	健全度 ランク	健全度 区分	摘 要
0060	大倉沢橋	7.30	1	RC橋	RC 中実床版	5.00	1983	38	下部工	C(3)	II	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0091	桶地内前田1号橋	5.00	1	PC橋	PC桁橋(その他)	4.30	1972	49	主桁	C(3)	II	ひびわれ、剥離・鉄筋露出
0061	高橋橋	6.00	1	RC橋	RC 中実床版	5.53	1961	60	下部工	C(3)	II	漏水・遊離石灰
0085	寺前沢目木1号橋	10.45	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1972	49	下部工	C(3)	II	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0099	宮仲2号1号橋	5.34	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1973	48	下部工	C(3)	II	ひびわれ
0047	大火比曽2号橋	5.00	1	RC橋	RC 中実床版	5.50	1974	47	下部工	C(3)	II	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0069	伊丹沢笠石1号橋	4.06	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1972	49	床版、下部工	C(3)	II	ひびわれ、漏水・遊離石灰、剥離・鉄筋露出
0105	前田1号1号橋	3.70	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	3.00	1973	48	床版、下部工	C(3)	II	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0089	庚申橋	4.00	1	RC橋	RC 中実床版	3.00	1990	31	床版	C(3)	II	剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰
0065	山木1号橋	3.50	1	PC橋	PC溝橋 (BOXカルバート)	5.50	1998	23	床版、下部工	C(3)	II	床版ひびわれ、遊間の異常、沈下・移動・傾斜
0104	笹ノ沢2号2号橋	4.00	1	RC橋	RC 中実床版	2.80	1972	49	床版、下部工	C(3)	II	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0107	古今明中央2号橋	6.40	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	5.40	1991	30	床版	C(3)	II	ひびわれ
0108	古今明東1号1号橋	6.30	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	5.40	1992	29	床版	C(3)	II	ひびわれ
0090	寺坂橋	2.98	1	RC橋	RC 中実床版	4.98	1967	54	下部工	C(3)	II	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0072	八和木荒屋敷2号橋	3.70	1	PC橋	その他 (PC橋)	5.20	1970	51	下部工	C(3)	II	洗堀
0095	伊丹沢山田1号橋	4.65	2	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	4.00	1972	49	下部工	C(3)	II	ひびわれ、変形・欠損
0103	笹ノ沢2号1号橋	2.25	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	4.00	1972	49	下部工	C(3)	II	剥離・鉄筋露出、欠損
0093	車大房木2号橋	4.68	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1972	49	下部工	C(3)	II	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0106	大西東1号橋	2.70	1	RC橋	RC 中実床版	4.00	1973	48	下部工	C(3)	II	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0063	向押山田1号橋	5.60	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	5.06	1997	24	床版、下部工	C(3)	II	ひびわれ、漏水・遊離石灰
0075	前田向1号橋	4.20	1	その他	その他	5.65	1978	43	床版、下部工	C(3)	II	腐食、防食機能の劣化、ひびわれ、漏水・遊離石灰
0101	古今明中央1号橋	4.20	1	その他	その他	4.50	1991	30	床版、下部工	C(3)	II	腐食・防食機能の劣化、ひびわれ、漏水・滞水

区分	状態	健全度 ランク	判定区分	備考
I 健全	構造物の機能に支障が生じていない状態	A(1)	健全	損傷が認められない
II 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態	B(2)	対策不要	損傷が軽微で補修を行う必要がない
III 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じている可能性があり、 早期に措置を講ずべき状態	C(3)	状況に応じ 早めに対策	状況に応じて補修を行う必要がある
IV 緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、 緊急に措置を講ずべき状態	D(4)	早急に補修 補強	速やかに補修を行う必要がある
		E(5)	緊急対応の 必要	緊急対策の必要がある

定期点検による判定区分と修繕計画健全度ランクの関係

4) 主要部材の損傷写真 判定区分「III」健全度「D(4)」の橋梁



67. 妻ノ橋沼ノ江1号橋：プレテン床版橋
(橋長：13.60m、1969年竣工)
プレテン桁間詰部の錆汁を伴った遊離石灰
※内部鋼材の腐食の進行は、耐荷力の低下
に影響する。(迂回路有り)



20. 大橋：鋼I桁橋
(橋長：31.60m、1976年竣工)
下部工の遊離石灰を伴ったひびわれ
※ひびわれからの雨水の浸入により、内部
鉄筋の腐食が進行する可能性が高い。
(迂回路有り)

4) 主要部材の損傷写真 判定区分「Ⅲ」健全度「D(4)」の橋梁



74. 松窪1号橋：プレテンT桁橋
 (橋長：13.06m、1968年竣工)
 主桁下面及び側面のひびわれ、
 鉄筋露出・うき
 ※露出鋼材の著しい腐食により耐荷力の低下が推測される。(迂回路有り)



86. 草野車1号橋：プレテン床版橋
 (橋長：12.50m、1972年竣工)
 下部工の遊離石灰を伴ったひびわれ
 ※水の浸入により、内部鉄筋の腐食が進行する可能性が高い。
 (迂回路有り)



68. 山田1号橋：ボックスカルバート橋
 (橋長：3.48m、1995年竣工)
 頂版下面及びハンチ部のひびわれ
 ※多数のひびわれの発生により、耐荷力の低下が推測される。(迂回路有り)



77. 八和木一ノ関1号橋：RCπ桁橋
 (橋長：3.80m、1970年竣工)
 下部工の遊離石灰を伴ったひびわれ
 ※著しいひびわれにより、鉛直支持機能の低下が推測される。
 (迂回路有り)



97. 笹ノ沢1号橋：RC床版橋
 (橋長：4.00m、1972年竣工)
 下部工基礎部の土砂流出
 ※基礎部の土砂の流出により、橋台背面土砂の沈下が進行する可能性がある。
 (迂回路有り)



102. 笹ノ沢2号橋：RC床版橋
 (橋長：4.00m、1972年竣工)
 下部工基礎部の土砂流出
 ※基礎部の土砂の流出により、橋台背面土砂の沈下が進行する可能性がある。
 (迂回路有り)

4) 主要部材の損傷写真 判定区分「Ⅲ」健全度「D(4)」の橋梁



96. 一楽1号橋：RC床版橋
(橋長：3.25m、1972年竣工)

下部工基礎部の土砂流出

※基礎部の土砂の流出により、橋台背面土砂の沈下が進行する可能性がある。
(迂回路有り)



92. 車大房木1号橋：RC床版橋
(橋長：4.80m、1972年竣工)

下部工基礎部の土砂流出

※基礎部の土砂の流出により、橋台背面土砂の沈下が進行する可能性がある。
(迂回路有り)



71. 八和木荒屋敷1号橋：RC床版橋
(橋長：4.20m、1970年竣工)

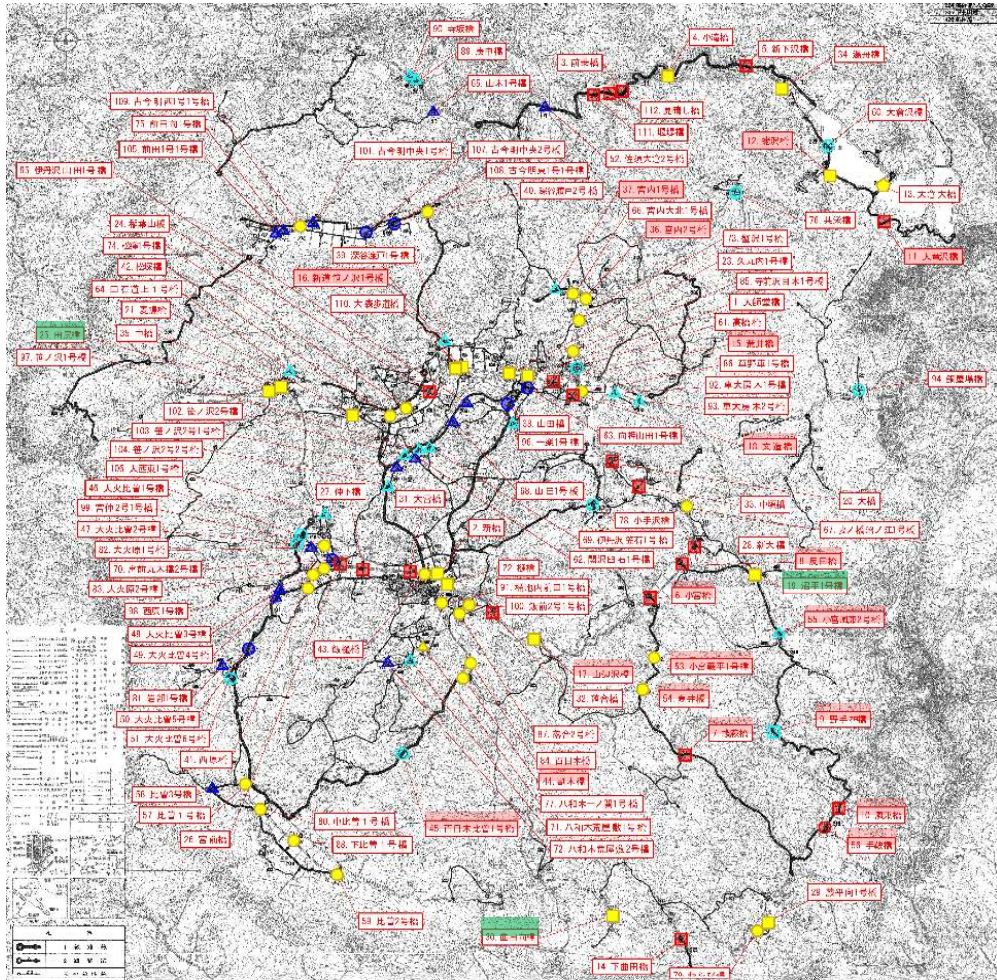
橋台基礎部の洗堀

※著しい洗堀により、鉛直支持機能の低下が推測される。(迂回路有り)

5) 修繕計画策定における管理区分を見直しする橋梁

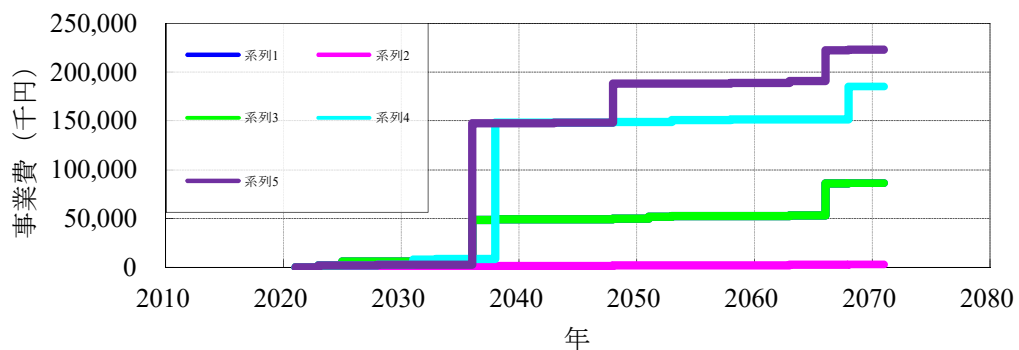
小宮橋をはじめとする19橋（橋梁名を赤で着色）は1・2級村道に架かる橋梁ですが、重要度に該当する項目が1つのみであり、管理区分が「B」の事後保全型の橋梁となります。しかし、復旧関連工事車両等の利用は多く重要であることから、管理区分を「A」の予防保全型に変更して、計画策定を行うこととしました。管理区分を「A」の予防保全型にすることにより、管理費用の縮減が図られ、現実的な村の予算に近づけることも可能となります。（事後保全型の橋梁は計画上の寿命設定が60年であり、反田橋は2038年に架け替えのため下表のように費用が増大となる）

上記の19橋のほか、その他の村道に架かる田尻橋・沼平1号橋・曲田向橋（橋梁名を青で着色）についても、工事車両等の利用状況を考慮して、管理区分を「A」の予防保全型に変更して計画策定を行うこととしました。



反田橋の事業費の推移

各シナリオの累計費用



6) 優先順位の見直しをする橋梁

反田橋は上沓サイドストッパーの破断により、機能障害を生じており、早期対策が必要であることから、順位を修正しました。(18位→11位) (優先順位区分「10」の最上位に修正)



サイドストッパーの破断



位置図

共栄橋の架かる村道木戸木線は、車両の通行可能な迂回路が無く、集落等が孤立する可能性があることから、順位を修正しました。(26位→20位)



全景写真



位置図

7) 全橋梁の優先順位一覧表

上記を考慮した橋梁全体の優先順位一覧表は添付の通りです。

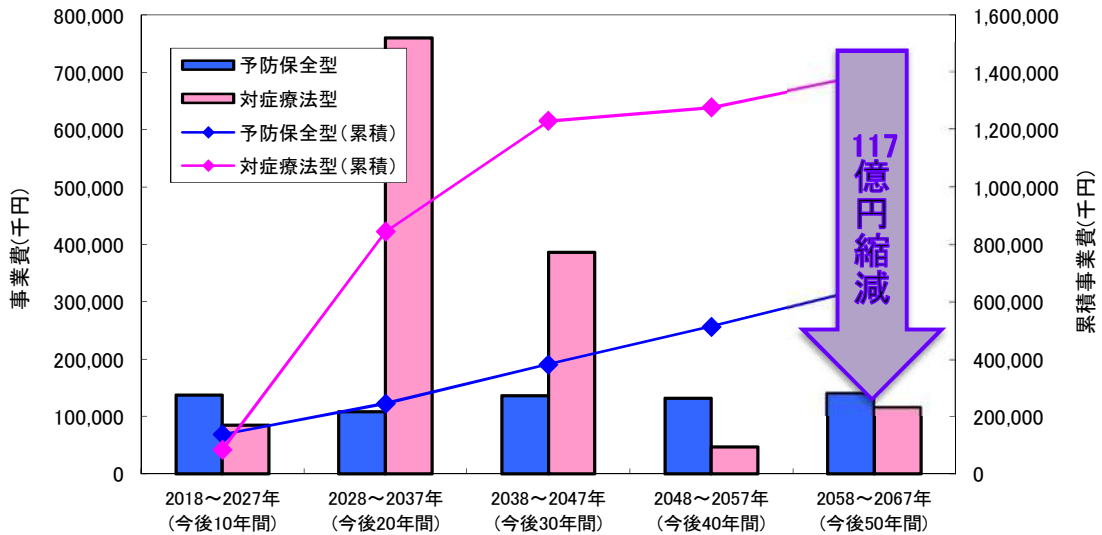
5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期 (5. 対策内容と実施時期)
 (・ 構造物の諸元、直近の点検結果及び次回点検年度)
 (・ 対策内容、対策の着手・完了予定年度)
 (・ 対策に係る全体概算事業費) (6. 対策費用)

様式1-2に、直近10年間の概ねの計画を示します。
 補修工法の選定にあたっては、NETIS等に登録され活用促進技術に指定されている新技術について、従来工法とのライフサイクルコストの比較検討を行った後に積極的に採用し、維持管理費用の縮減や再劣化防止等に努めていきます。
 ●活用促進技術に指定されている新技術の例
 ・鋼部材の塗装(錆転換型防食塗装)。
 ・コンクリート部材の補修(断面修復工、表面含浸工)。
 ・伸縮装置の止水・漏水対策、取替。
 様式1-2、優先順位一覧表に概算の事業費を示します。

6. 長寿命化修繕計画による効果

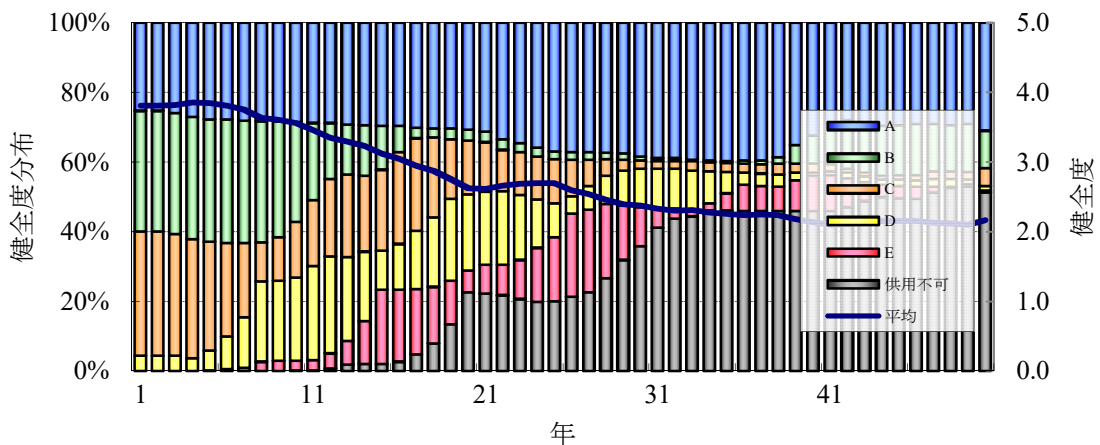
飯館村が管理する橋梁について、点検結果を基に今後50年間での予算シミュレーションを行い、以下の結果が得られました。

長寿命化修繕計画を策定する112橋について、年間の予算制約額を0.30億円とし今後50年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型が132億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が15億円となり、コスト縮減効果は117億円(88.6%減)となります。



また、計画的な修繕を実施することにより、良好な健全度を維持することが可能となり、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性及び信頼性が確保されます。

健全度分布の推移



7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署
飯舘村役場 建設課 土木係 tel : 0244-42-1623

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者
日本大学 工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎

【様式1-2】

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

凡例： ← → 対策を実施すべき時期、補修部材保守内容を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	最新点検結果	対策の内容・時期												概算工事費(千円)	
								R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12				
妻ノ橋沼ノ江1号橋	その他	妻ノ橋沼ノ江線	13.6	1969	52	H29	Ⅲ	←	点検							点検					〇〇円
大橋	その他	大橋線	31.6	1976	45	H30	Ⅲ	←	点検	→	点検				簡予		点検				
松窪1号橋	その他	松窪線	13.06	1968	53	H29	Ⅲ									点検					
草野車1号橋	その他	草野・車線	12.5	1972	49	R1	Ⅲ				点検					←				点検	
山田1号橋	その他	山田線	3.48	1995	26	R2	Ⅲ							点検							点検
八和木一ノ関1号橋	その他	八和木一ノ関線	3.8	1970	51	R2	Ⅲ							点検							点検
笹ノ沢1号橋	その他	笹ノ沢1号線	4	1972	49	R2	Ⅲ							点検							点検
笹ノ沢2号橋	その他	笹ノ沢1号線	4	1972	49	R2	Ⅲ							点検							点検
一楽1号橋	その他	一楽線	3.25	1972	49	R1	Ⅲ				点検										点検
車大房木1号橋	その他	車大房木線	4.8	1972	49	R1	Ⅲ				点検										点検
八和木荒屋敷1号橋	その他	八和木荒屋敷線	4.2	1970	51	R2	Ⅲ							点検							点検
飯樋橋	1級	深谷飯樋線	12.1	1967	54	H30	Ⅱ	簡予		点検・簡予		簡予		簡予		点検	簡予				
松塚橋	1級	深谷飯樋線	13.5	1967	54	H30	Ⅱ	簡予		点検・簡予		簡予		簡予		点検	簡予				
大倉大橋	2級	稲荷塚大森線	280	1989	32	H29	Ⅱ	簡予	点検	簡予		簡予				←				簡予	→
山田橋	1級	草野飯樋線	5	1987	34	H29	Ⅱ	簡予	点検	簡予		簡予				←				簡予	→
新橋	1級	草野飯樋線	29.85	1993	28	H29	Ⅱ	簡予	点検	簡予		簡予				←				簡予	→
大師堂橋	1級	草野飯樋線	19.85	1989	32	H29	Ⅱ	簡予	点検	簡予		簡予				←				簡予	→
反田橋	2級	小宮風兼線	25.3	1978	43	H30	Ⅱ									←				点検・簡予	→
関沢臼石1号橋	その他	関沢臼石線	2.3	1992	29	H29	Ⅱ	←	点検・簡予							←				点検・簡予	→
文造橋	2級	草野関沢線	16.46	1969	52	H30	Ⅱ			点検	簡予					←				点検	簡予
新下沢橋	1級	佐須大倉線	35	1995	26	H29	Ⅱ		点検					簡予		点検					簡予
前乗橋	1級	佐須大倉線	47	2002	19	H29	Ⅱ		点検・簡予							点検・簡予					
大竜沢橋	2級	上ノ倉羽白線	31	1985	36	H30	Ⅱ			点検				簡予		点検					簡予
風兼橋	2級	小宮風兼線	20.3	1967	54	H30	Ⅱ		簡予	点検						簡予	点検				
荒井橋	2級	向押山田線	24.6	1973	48	H30	Ⅱ			点検							点検				
蛇沢橋	2級	上ノ倉羽白線	47	1986	35	H30	Ⅱ			点検							点検				
小宮蔵平1号橋	2級	小宮蔵平線	6.8	1976	45	H30	Ⅱ	←	点検							←				点検	→
新道笹ノ沢1号橋	2級	新道笹ノ沢線	16.1	1971	50	H29	Ⅱ		点検								点検				
沼平1号橋	その他	妻ノ橋沼ノ江線	23.8	1959	62	H30	Ⅱ														点検
佐須大倉2号橋	1級	佐須大倉線	2.6	1987	34	R1	Ⅱ									←					点検
田尻橋	その他	臼石大火線	21.4	1989	32	H30	Ⅱ									←					点検
深谷渡戸2号橋	2級	深谷・渡戸線	6.34	1968	53	R1	Ⅱ							点検		←					点検
宮内2号橋	2級	宮内線	8.45	1981	40	R1	Ⅱ							点検		←				点検	←
手鞍橋	2級	小宮風兼線	14.4	1965	56	R2	Ⅱ							点検・簡予		←				床版：ひび割れ補修等	→
小宮風兼2号橋	2級	小宮風兼線	4.94	1973	48	R2	Ⅱ							点検							点検
山辺沢橋	2級	山辺沢萱刈庭線	27.5	1981	40	H30	Ⅱ			点検							点検				
共栄橋	その他	木戸木線	13	1970	51	H29	Ⅱ		点検								点検				
大火原2号橋	その他	大火原線	8.45	1972	49	R2	Ⅱ							点検							点検
飯前2号1号橋	その他	飯前2号線	9.45	1972	49	R2	Ⅱ							点検							点検
西原1号橋	その他	西原線	8.4	1973	48	R2	Ⅱ							点検							点検
百目木橋	その他	百目木平線	10.2	1974	47	R1	Ⅱ							点検							点検
大雷橋	その他	小古庭外内線	18.9	1977	44	R2	Ⅱ	←	簡予					点検		簡予					点検
落合橋	その他	落合線	26.6	1977	44	R2	Ⅱ	←	簡予					点検		簡予					点検
大火比曾3号橋	1級	大火比曾線	4.75	2002	19	R2	Ⅱ	←	簡予					点検							点検

凡例：↔ 対策を実施すべき時期、補修
部材保守内容を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	最新点検結果	対策の内容・時期												概算工事費(千円)
								R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12			
野手神橋	2級	小宮風兼線	14.6	1967	54	H30	I			点検					点検					
宮内1号橋	2級	宮内線	4.31	1981	40	R1	I	↔		点検					点検					
蟹沢1号橋	その他	蟹沢線	10.43	1972	49	R1	I			点検					点検					
わらび橋	その他	蕨平向線	13.4	1990	31	R1	I			点検				↔	点検					
大火比曾1号橋	1級	大火比曾線	5	1973	48	R2	I				点検						点検			
西原橋	2級	赤宇木高畑線	9.57	1985	36	R2	I				点検			↔	点検					
稲葉山橋	その他	稲葉山向線	17	1998	23	H30	I			点検・雨子				点検・雨子						
中比曾1号橋	その他	中比曾線	10.85	1981	40	R1	I			点検				↔	点検					
蕨平向1号橋	その他	蕨平向線	17.56	1987	34	H30	I			点検				↔	点検					
曲田向橋	その他	曲田向線	21	1988	33	R2	I				点検						点検			
樋橋	その他	大久保線	27.6	1977	44	H30	I	↔	点検						点検					
湯舟橋	その他	北ノ坂・湯舟線	26.5	1983	38	R1	I			点検							点検			
中橋	その他	臼石小学校線	17.8	1987	34	H30	I			点検					点検					
麦搗橋	その他	中迫関根線	16.5	1987	34	H30	I			点検					点検					
大森歩道橋	2級	新道笹ノ沢線	16.8	2007	14	R1	I			↔	点検						点検			
小手沢橋	その他	小手沢線	5.6	1990	31	R2	I			伸縮装置	取替(始端側)等			↔	点検			点検		
古今明西1号1号橋	その他	古今明西1号線	5.3	1992	29	R1	I			点検				↔	点検			点検		
岩部1号橋	その他	岩部線	2.3	2001	20	R2	I				点検							点検		
大火原1号橋	その他	大火原線	2.95	1972	49	R2	I				点検							点検		
臼石道上1号橋	その他	臼石道上線	4.6	1998	23	R1	I				点検							点検		
比曾1号橋	2級	比曾線	7.85	1990	31	R1	I				点検				↔	点検		点検		
宮前丸木橋2号橋	その他	宮前丸木橋線	7.85	2007	14	R2	I	↔	点検									点検		
合 計 (千円)								29.708	29.775	29.869	29.887	29.824	29.705	29.774	29.987	29.407	29.497			

■ :健全度E(G) ■ :健全度B(C)
■ :健全度D(4) ■ :健全度A(1)
■ :健全度C(3)

優先順位一覧 制約0.30億円

番号	橋梁名	諸元					重要度評価指標					総合評価指標				部材健全度		優先順位	優先順位区分	管理区分内訳										今後50年修繕費用												
		橋長(m)	径間数	上部工使用材料	上部工構造形式	車道幅員(m)	竣工年	経過年	緊急輸送路	道路等級	緊急輸送路	橋長	車道幅員	道路区分	バス路線	交差条件	重要度合計(A)			耐荷性	災害抵抗性	走行安全性	平均(B)	部材種別	健全度ランク	管理区分	緊急輸送路	道路区分	バス路線	該当数	評価①	交差条件	評価②	橋長5m未満	カルテット特異形式	評価③	寿命(年)	今後5年(百万円)	残り(百万円)	合計(百万円)		
0111	腰堀橋	73.06	3	鋼管接橋	箱桁(不明)	5.31	2008	13	第1次臨	1級	10	10	5	10	0	35	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	60.0	83	整	A	○	○	○	2	A	-	-	-	-	-	B	50以上	0.4	3.8	4.2	
0112	見取1号橋	62.00	1	鋼管接橋	箱桁(不明)	5.00	2012	9	第1次臨	1級	10	10	5	10	0	35	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	60.0	84	整	A	○	○	○	2	A	-	-	-	-	-	B	50以上	0.3	3.1	3.4	
0054	夏井橋	9.30	1	PC橋	プレテン床版	6.25	1976	45	-	2級	0	0	10	5	0	15	55.0	60.0	70.0	61.7	主部材	B(2)	53.3	85	整	A	-	○	-	1	B	-	-	-	-	-	B	50以上	1.2	2.7	3.9	
0044	割木橋	10.40	1	PC橋	プレテン床版	5.00	1979	42	-	1級	0	0	5	10	0	15	55.0	60.0	70.0	61.7	主部材	B(2)	53.3	86	整	A	-	○	-	1	B	-	-	-	-	-	B	50以上	1.2	2.7	3.9	
0006	小宮橋	22.90	1	鋼管接橋	H形鋼(不明)	6.00	1979	42	-	1級	0	5	10	10	0	25	60.0	85.0	70.0	71.7	主部材	B(2)	53.3	87	整	A	-	○	-	1	B	-	-	-	-	-	B	50以上	2.7	3.1	5.7	
0007	磯萩橋	33.00	1	鋼管接橋	H形鋼(不明)	5.00	1990	31	-	1級	0	5	5	10	0	20	60.0	85.0	70.0	71.7	主部材	B(2)	48.3	88	整	A	-	○	-	1	B	-	-	-	-	-	B	50以上	0.3	3.0	3.4	
0004	小瀬橋	20.10	2	PC橋	プレテン床版	4.00	1963	58	第1次臨	1級	10	5	5	10	0	30	85.0	95.0	75.0	85.0	床版	B(2)	45.0	89	整	A	○	○	-	2	A	-	-	-	-	-	B	42	0.3	6.0	6.4	
0039	深谷渡戸1号橋	3.40	1	RC橋	RC 中梁床版	4.70	1965	56	-	2級	0	0	5	5	10	0	20	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	45.0	90	整	A	-	○	○	2	A	-	-	-	○	-	C	44	0.3	9.8	10.1
0009	新子神橋	14.60	1	RC橋	RC 1桁	4.00	1967	54	-	2級	0	0	5	5	0	10	60.0	85.0	70.0	71.7	主部材	B(2)	38.3	91	整	A	-	○	-	1	B	-	-	-	-	-	B	46	0.3	2.7	3.0	
0037	宮内1号橋	4.31	1	RC橋	RC 中梁床版	5.00	1981	40	-	2級	0	0	5	5	0	10	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	35.0	92	整	A	-	○	-	1	B	-	-	-	○	-	C	50以上	0.6	3.0	3.6	
0073	蟹沢1号橋	10.43	1	PC橋	プレテン床版	4.00	1972	49	-	その他	0	0	5	0	0	5	55.0	60.0	70.0	61.7	主部材	B(2)	43.3	93	整	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	-	B	11	0.3	2.7	3.0	
0079	わかざ橋	13.40	1	PC橋	プレテン床版	3.00	1990	31	-	その他	0	0	5	0	0	5	55.0	60.0	70.0	61.7	主部材	B(2)	43.3	94	整	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	-	B	29	0.3	6.2	6.5	
0046	大木比曾1号橋	5.00	1	RC橋	RC 中梁床版	5.50	1973	48	-	1級	0	0	5	10	0	15	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	40.0	95	整	B	-	○	-	1	B	-	-	-	-	-	B	12	0.3	2.4	2.7	
0011	西原橋	9.57	1	PC橋	プレテン床版	6.51	1985	36	-	2級	0	0	10	5	0	15	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	40.0	96	整	B	-	○	-	1	B	-	-	-	-	-	B	24	0.3	3.1	3.7	
0024	稲葉山橋	17.00	1	鋼管接橋	H形鋼(非合成)	5.00	1998	23	-	その他	0	5	5	0	0	10	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	35.0	97	整	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	-	B	37	0.3	4.3	4.6	
0080	中比曾1号橋	10.85	1	PC橋	プレテン床版	5.00	1981	40	-	その他	0	0	5	0	0	5	60.0	85.0	70.0	71.7	主部材	B(2)	33.3	98	整	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	-	B	20	0.3	3.6	3.9	
0029	蔵平向1号橋	17.56	1	PC橋	プレテン1桁	3.20	1987	34	-	その他	0	5	5	0	0	10	70.0	65.0	95.0	76.7	主部材	B(2)	33.3	99	整	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	-	B	26	0.3	2.7	3.0	
0030	曲田向橋	21.00	1	PC橋	プレテン1桁	4.00	1988	33	-	その他	0	5	5	0	0	10	70.0	65.0	95.0	76.7	主部材	B(2)	33.3	100	整	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	-	B	27	0.3	2.4	2.7	
0022	桶橋	27.60	2	PC橋	プレテン1桁	4.06	1977	44	-	その他	0	5	5	0	0	10	85.0	75.0	95.0	78.3	床版	B(2)	31.7	101	整	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	-	B	16	2.2	2.7	4.9	
0034	徳月橋	26.50	1	PC橋	ホスケン1桁	4.00	1983	38	-	その他	0	5	5	0	0	10	75.0	90.0	95.0	86.7	主部材	B(2)	23.3	102	整	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	-	B	22	0.3	2.7	3.0	
0033	中橋	12.80	1	PC橋	プレテン1桁	4.00	1987	34	-	その他	0	5	0	0	0	10	75.0	90.0	95.0	86.7	主部材	B(2)	23.3	103	整	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	-	B	26	0.3	2.7	3.0	
0021	妻橋	16.50	1	PC橋	プレテン1桁	3.00	1987	34	-	その他	0	5	0	0	0	10	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	20.0	104	整	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	-	B	26	0.3	2.7	3.0	
0110	大森歩道橋	16.80	1	PC橋	プレテン中空床版	0.00	2007	14	-	2級	0	5	0	5	0	10	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	20.0	105	整	B	-	○	-	1	B	-	-	-	-	-	B	46	7.0	3.6	10.6	
0078	小手沢橋	5.60	1	RC橋	RC 中梁床版	4.50	1990	31	-	その他	0	0	5	0	0	5	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	15.0	106	整	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	-	B	29	0.7	2.8	3.5	
0109	古今明西1号橋	5.30	1	PC橋	プレテン床版	3.60	1992	29	-	その他	0	0	5	0	0	5	95.0	75.0	100.0	90.0	下部工	B(2)	15.0	107	整	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	-	B	31	0.3	2.8	4.1	
0081	岩部1号橋	2.30	1	RC橋	RC(鋼管・BOXカラム構造)	6.13	2001	20	-	その他	0	0	10	0	0	10	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	35.0	108	整	C	-	-	-	0	C	-	-	-	○	○	C	50以上	0.3	2.4	2.7	
0082	大次原1号橋	2.95	1	RC橋	RC(鋼管・BOXカラム構造)	4.70	1972	49	-	その他	0	0	5	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	109	整	C	-	-	-	0	C	-	-	-	○	○	C	50以上	0.3	10.6	10.9	
0064	白石上1号橋	4.60	1	RC橋	RC 中梁床版	4.00	1998	23	-	その他	0	0	5	0	0	5	80.0	70.0	75.0	75.0	床版	B(2)	30.0	110	整	C	-	-	-	0	C	-	-	-	○	○	C	50以上	0.3	2.7	3.0	
0057	比曾1号橋	7.85	1	PC橋	プレテン床版	5.00	1990	31	-	2級	0	0	5	5	0	10	100.0	100.0	100.0	100.0	主部材	A(1)	10.0	111	整	B	-	○	-	1	B	-	-	-	-	-	B	29	0.3	4.0	4.3	
0070	宮前丸木橋2号橋	7.85	1	PC橋	その他(PC橋)	5.00	2007	14	-	その他	0	0	5	0	0	5	100.0	100.0	100.0	100.0	主部材	A(1)	5.0	112	整	B	-	-	-	0	C	-	-	-	-	-	B	46	1.0	2.4	3.4	